

平成29年6月26日

桑折町議会  
議長 片平 秀雄 様

産業厚生常任委員会  
委員長 佐藤 武朗

### 委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

#### 記

#### 1 調査事件

道水路等の整備状況と計画について

#### 2 調査目的

町民の安全な生活環境確保のため

#### 3 調査の経過

□平成28年7月19日

地域整備課長の出席を求め、道水路関連事業、橋梁長寿命化事業の計画と推進状況について、今年度のスーパーやなみ事業採択状況と実施計画について説明を受け、質疑応答を行った。

□平成28年10月26日

地域整備課長の出席を求め、平成28年度のスーパーやなみ事業の完了現場と予定現場、橋梁長寿命化事業の対象橋梁（東北自動車道に架かる橋梁）の現地調査、宮沢地区農業被害復旧状況の現地確認を行った。

□平成28年11月9日

地域整備課長の出席を求め、前回現地調査実施箇所（平成28年度スーパーやなみ事業・橋梁長寿命化事業・宮沢地区農業被害復旧事業関係）についての補足説明及び質疑応答を行った。

□平成29年2月10日

地域整備課長の出席を求め、平成28年度橋梁点検の概要と次年度以降の計画について説明を受け、質疑応答を行った。

□平成29年4月13日

地域整備課長の出席を求め、平成29年度の道水路（橋梁含む）等の整備予定について説明を受け、質疑応答を行った。

□平成29年5月8日

調査事件の今後の進め方について、協議・検討を行った。

□平成29年6月5日

地域整備課長の出席を求め、町道の幹線道路、舗装基準、スーパーやなみ事業の道水路等の整備実績、多面的機能支払交付金事業、集中豪雨時の溢水箇所について説明を受け、質疑応答を行った。

#### 4. 結果報告

##### (1) 道水路等に関して

本町の道路総延長は301.29kmであり、全ての道路の改良、維持管理については限界がある。厳しい財政状況の中、「町民の安全な生活環境確保」のためどのようにインフラ整備を進めて行くかが今後の課題でもあることから、次の点について努めるべきである。

- ①スーパーやなみ事業は平成22年度より取り組み、事業件数54件、道路3,999m、水路891mの整備を行い、地域の環境整備には欠かせない事業である。しかし、参加者の高齢化、女性の参加等、人員の確保に課題はある。このことを踏まえ「町民の安全な生活環境確保」に必要なことから、継続して取り組むこと。さらに予算の増額にも努めるべきである。
- ②地域共同で行う「多面的機能支払交付金事業」に取り組むことにより道水路の維持、整備が図られる。本町の農村地域では現在9団体が取り組んでおり、他地域への取り組み推進を図ることにより、より一層の環境整備が図れる。
- ③町道の老朽化が進むなか「町民の安全な生活環境確保」のためには、年

度毎に変動のない一定額の予算措置を行い、町民の要望に応えられる計画的な維持管理に努めるべきである。

(2) 橋梁等に関して

本町の全橋梁 163 ヲ所の点検は今年度で完了し点検の結果により対応、東北自動車道に架かる橋梁については修繕との説明を受けている。

しかし、東北自動車道の橋梁については老朽化が進み、今後の維持管理には多額の費用が考えられることから、次の点に努めるべきである。

- ①全く利用されていない橋梁については地域住民との十分な協議に努めるべきである。
- ②予算確保も含めた先進事例等を参考に橋梁撤去に向け検討に努めるべきである。